

第 71 回レオロジー討論会のご案内と講演募集 (3/22 版)

第 71 回レオロジー討論会は、日本バイオレオロジー学会と共同主催で、愛媛大学の保田和則教授を実行委員長として 2023 年 10 月 19 日 (木)、20 日 (金) の 2 日間「松山市総合コミュニティセンター」にて開催されます。レオロジー一般および下記テーマに関する講演を募集いたします。討論会に適した内容であれば既発表の研究を含んでも構いません。皆様の積極的なお申込みをお待ちしております。

主催：日本レオロジー学会、日本バイオレオロジー学会

協賛：日本材料学会、プラスチック成形加工学会、高分子学会、日本化学会、日本物理学会、繊維学会、応用物理学会、化学工学会、強化プラスチック協会、日本ゴム協会、日本接着学会、日本セラミックス協会、日本木材学会、セルロース学会、日本機械学会、日本雪氷学会、日本混相流学会、日本流体力学会、可視化情報学会、日本食品科学工学会、日本家政学会、日本調理科学会、日本食品工学会、日本繊維機械学会 (依頼中)

後援：日本農芸化学会 (依頼中)

日時：2023 年 10 月 19 日 (木)、20 日 (金)

会場：松山市総合コミュニティセンター (〒790-0012 愛媛県松山市湊町7丁目5番地)

※感染状況により開催方法をオンラインに変更とする場合があります

講演申込：学会ホームページ「討論会講演申込フォーム」よりお申込みください。フォームからのお申し込みができない場合は、①講演題目、②オーガナイズドセッションテーマ名、③発表の種類 (口頭かポスター)、④研究者氏名 (連名の場合講演者に○印、**連名者全員の所属も記入**)、⑤所属先名または勤務先名、⑥TEL、⑦E-mail、⑧100 字程度の概要、以上1～8を1題ごとに明記し、office@srj.or.jp宛に申込み下さい。

講演申込は、5月19日 (金) から開始いたします。

講演発表時間：1件あたり講演時間は15～20分、討論5～10分を予定

プログラム編成について：講演の採否、プログラム編成は実行委員会に御一任下さい。プログラム編成の都合上、お申込み時の発表の種類をご変更頂く場合があります。

申込先：一般社団法人 日本レオロジー学会

〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93番地 京都リサーチパーク6号館3階305号

E-mail: office@srj.or.jp TEL: 075-315-8687

特別企画とオーガナイザー (敬称略)：

バイオレオロジー・リサーチ・フォーラム

藤井修治

オーガナイズドセッションとオーガナイザー (敬称略)：

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 高分子液体のレオロジー | 高野敦志、松宮由実 |
| 2. 高分子固体のレオロジー | 新田晃平、山口政之 |
| 3. 非ニュートン流体力学 | 日出間り、高橋 勉、山本剛宏、岩田修一 |
| 4. 表面界面のレオロジー | 川口大輔、梶谷忠志 |
| 5. ER・MR流体及び液晶のレオロジー | 田中克史、藤井修治 |
| 6. ゲル・エラストマーのレオロジー | 浦山健治、河原成元、酒井崇匡 |
| 7. 生体由来物質・食物のレオロジー | 三浦 靖、吉村美紀 |
| 8. バイオレオロジー (医学関連のレオロジー) | 中村匡徳、古澤和也 |
| 9. ミクロ・ナノおよび分子レオロジー | 酒井啓司、増渕雄一 |
| 10. 分散系・セラミックス関連のレオロジー | 菰田悦之、四方俊幸、巽 大輔 |
| 11. 機能性材料・成形加工のレオロジー | 岡本正巳、杉本昌隆 |
| 12. サイコロロジー (含化粧品関連のレオロジー) | 田村英子、那須昭夫、山縣義文 |
| 13. English Session | Sathish K. Sukumaran、谷口貴志 |

各種締切日：

講演申込締切 6月19日 (月) 17時

要旨原稿提出締切 8月18日 (金) 17時

冊子体要旨集購入申込締切 8月25日 (金) 17時

事前参加申込と参加費支払い締切 9月29日 (金) 17時

以上